

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

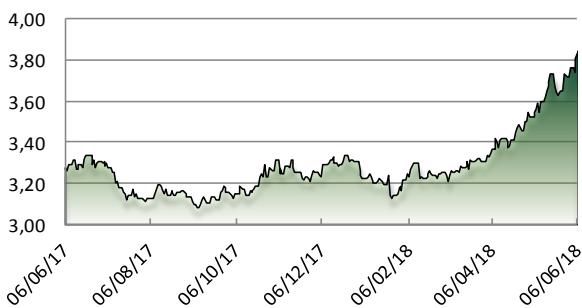
昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル中銀によるスワップ介入増額も相場を反転させる材料とはならず、早々に3.85台前半に到達。大統領選前の4レアル乗せが現実味を帯びてくる中、マーケットでは中銀が他の新興国と同様、「利下げから一転して利上げに追い込まれる可能性が高まっている」との見方が強まっている。インドネシア中銀は直近2週間で2回の利上げを実施。Perry総裁は、「速やかに利上げに踏み切った行動が通貨ルピアの安定に寄与した」と述べた他、「状況に応じて追加の金融引き締めや市場介入が必要になる」との見解を示している。また、インド中銀も昨日、2014年1月以来となる予想外の利上げを実施。その理由として、「経済全体が上向いている一方、インフレ率が目標を超過している」ことを挙げている。アルゼンチン、トルコも自国通貨安に利上げという手段で応じており、ブラジル中銀のみが取り残されていると指摘されている。マーケットは既に今月19-20日、及び、7月31-8月1日に開催されるCOPOMでの利上げを織り込み始めしており、レアル金利スワップのカーブもそれに応じて上方シフトしつつある。一方、Goldfajn中銀総裁は最新のコメントで、「少なくとも次の2回のCOPOMでは政策金利を据え置く見通し」と発言しており、中銀が相場のトレンドに屈して金融政策の方針を転換するかどうかに注目が集まっている。なお、中銀で金融政策全般を統括しているReinaldo Le Grazie理事は昨日、ブラジリアで実施された上院公聴会で、「中銀が現在為替市場に対して取っている行動は、金融政策とは分離して考えるべきである」と述べている。

マーケットデータ

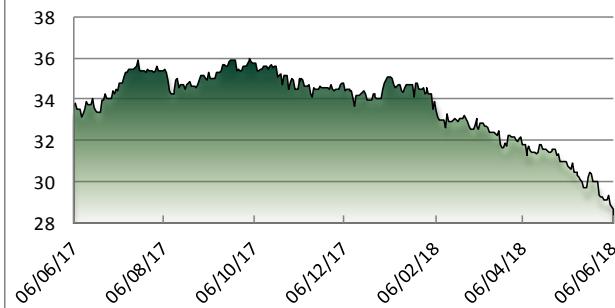
Indicator		Unit	6月5日	6月6日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,8091	3,8513	1,11%	9,12%	3,1210	3,8544
	対円	JPY	28,82	28,60	-0,76%	-7,50%	35,13	28,53
	対ユーロ	BRL	4,4644	4,5370	1,63%	7,47%	3,8531	4,5385
円	対ドル	JPY	109,79	110,18	0,36%	0,97%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	128,66	129,74	0,84%	-0,58%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		76.642	76.117	-0,69%	-8,42%	88.318	75.337
CDS Brazil 5yrs	bps		236,40	245,04	3,65%	32,16%	245,42	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		12,08	12,40	2,65%	26,07%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)	%		6,90	6,98	1,09%	11,16%	7,16	6,21
3 Months US Dollar Libor	%		2,3192	2,3192	0,00%	-2,10%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index		199,19	199,01	-0,09%	-2,09%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オプスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部は無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。